

以此以5月 *在定步*3亿多以季前!

新しいスタートから約1ヶ月が経ちました。小学校では運動会の練習に汗を流したり、中学校では 部活動の大会に参加したり、修学旅行の準備をしたりと忙しい日々を送られている先生方がたくさん いらっしゃると思います。ぜひお体に気をつけてお過ごしください。

さて、4連休を含むゴールデンウィークが終わりました。ちょっと長めのお休み後で、子どもたちの様子に変化が現れてはいないでしょうか?。子どもたちは、緊張しながら少しずつ新しい環境へ適応しようと努力しています。そのため、先生方が年度初めに疲れを感じているのと同じように、子どもたちも疲れを感じやすくなっている時期です。この時期に不適応を起こしてしまう子どもたちがいることも現実です。ぜひ先生方による情報交換・共有を通して、不安を抱える子どもたちへの支援をお願いしたいと思います。短時間でも情報交換を試みていただき、子どもたちの願い、不安、悩みに対して組織的に、そして早期に対応をお願いいたします。

「とちぎっ子学習状況調査」 実施 とちぎっ子学カアッププロジェクト

去る4月22日(火)に本年度から実施されることになった、「とちぎっ子学習状況調査」が実施されました。今月はその「とちぎっ子学習状況調査」を要とする「とちぎっ子学力アッププロジェクト」の概要を、栃木県の資料から確認しておきたいと思います。

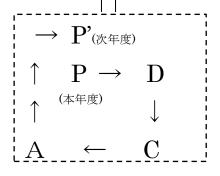
とちぎっ子学習状況調査の目的:本県児童生徒の学力向上のため

児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にする。 各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組む。

この学習状況調査を活用した検証改善サイクルが、年間で以下のように設定されています。

D 実践く指導計画に基づいた実践> 月 とちぎっ子学習状況調査(4月22日実施済) 6 月 C 評価く「とちぎっ子学習状況調査」結果の分析・評価> (6月末に結果返却:7月末までに分析) 月 ・児童生徒の学力と学習状況を評価する 9 ・学校、各教師の取組を評価する↓ 月 A 改善く評価に基づいた日々の指導の工夫・改善> 1 ・学校の体制づくり 月 ・ 教師の指導改善を図る取組 児童生徒へのフィードバック 1月 P 計画く指導計画の立案> 次年度の指導計画を立案する 月 次年度へ

各校の学力向上担当者を中心に、学力向上アドバイザーを活用して、学力向上改善プランの作成を行っていく(PDCAサイクル運用)。



【5月の予定】

- ※ 各研修会等詳細は文書でご確認下さい。
- ※ 時間のみ記載の研修会の場所は、石橋庁舎です。
- ※ 市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
7. Apr. 2	* S			1 市小中学校教務主 任研修会 15:00	下地区中学校春季	3 憲法記念日 下地区中学校春季 大会
4 みどりの日 下地区中学 校春季大会		<mark>仮替休日</mark> しもつけ薪能		研修①14:00 市小中特別支援学級 合同レクリエーション大会	9 サポートセンター学 校巡回訪問(国分寺東 小) 下地区学校保健会 総会	
11	校巡回訪問(吉田西小·国分寺西小) 市情報教育研究推					17 細谷小運動会 石橋北小運動会
18		20 市特別支援教育コ ーディネーター研 修 15:00		22 サポートセンター学 校巡回訪問(祗園小・南 河内中)	①14:30 石橋公民館	24 石橋小運動会 古山小運動会 国分寺小運動会 南河中体育祭
2 5	2 6 サポートセン ター学校巡回訪問(吉 田東小)下地区教育相 談連絡会研修会13:30 間々田市民交流セッター	一学校巡回訪問(緑 小・薬師寺小)	市小中校長定例会議②9:00	29 サポートセンター学 校巡回訪問(国分寺小) 市幼保小連絡協議 会 15:00	3 0 サポートセンター学 校巡回訪問(石橋北小)	31 祇園小運動会 緑小運動会

スキルアップ:ワンポイント講座

今年度も1ヶ月が過ぎて、パソコン室での授業も開始される頃になりました。この時期に子供たちの姿勢に注意してみるとよいと思われます。 そこで、パソコンに向かうときの正しい姿勢について掲載します。健康のためにも以下を守る習慣をつけましょう。

【椅子の高さ】

キーボードに手を置いたとき、肘が90度以上になる高さ。できれば履物の裏面全体が床に設置するように足置き台を置くとよいです。

【体の位置】

ディスプレイとキーボードと頭の位置が一直線上になるようにする。(足を組んだり、椅子を回転させないようにしましょう。)

【ディスプレイの位置】

画面から目までの距離を 40 センチ (ワイドモニターは 50 センチ) 以上離します。画面の高さと向きは水平視線よりやや下向き (ディスプレイの上端が目の高さ前後) になるように調節します。

【輝度とコントラストの調整】

印刷した白い用紙と見比べて、液晶ディスプレイの色が同じになるように輝度やコントラストを調整するとあまり疲れない状態になります。調節方法がわからない場合は、情報教育アドバイザーまでご依頼ください。

%内容は、平成 14 年に厚生労働省が定めた「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」を基にしておりま

す。ホームページ http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/04/h0405-4.html

